

東洋思想に基づき、健やかな美しさ追求した
ストレス社会でがんばる、忙しい現代人を応援する健康ドリンク

『健美三泉 ディープ フォーカス リキッド』 発売

株式会社 ポーラ(本社：東京都品川区、社長：及川美紀)は、健やかな美しさの土台となり、前向きにアクティブに、充実した時間を過ごしたい方を応援する、東洋思想に基づいた健康食品『健美三泉 ディープ フォーカス リキッド』(¥4,860<税抜¥4,500>)を2022年7月1日に発売します。

ポーラは、健やかな「からだ」と「こころ」は、美しさへの近道であり、現代の忙しく駆けめぐる毎日や変化の激しい時代においても、いきいきと生命力にあふれ、健やかで美しくあるために、強固でゆらがない「からだ」と「こころ」の土台を追求し続けています。

「健美三泉」共通で配合されているオシャグジタケのエキスは、砂漠に生息し、生命力の強い植物で歴史的に大変珍重されています。有用成分を多く抽出するために抽出条件にこだわり、ポーラ独自の方法で製造したオリジナルエキスです。今回新たに、キョウチクトウ科の植物で、中国では古くから神聖な植物と言われ、お茶として親しまれてきたラフマ葉抽出物を配合。さらに、「健美三泉 バイタルベース」に配合されているネムノキ樹皮エキスと高麗人参エキス、「同サーキュリンベース」に配合されているガジュツ、「同シールドベース」に配合されているクローブを、1本にバランスよく配合しました。東洋思想から学ぶ、「イキイキ」「サラサラ」「スッキリ」のバランスを整えながら、時間に追われがちな忙しい現代人の生活をサポートします。ノンカフェインで、ライフスタイルに合わせていつでもお飲みいただけます。漢方成分の特有の苦味の少ないすっきりとした味わいのドリンクタイプです。

全国のポーラビューティーディレクター、コスメ&エステショップ約590店舗を含む約3200店のポーラショップ、旗艦店「ポーラ ギンザ」、全国有名百貨店等ポーラコーナー67店舗(2021年末時点)、ポーラ公式オンラインストア(net.pola.co.jp)にてお取り扱いします。海外では、香港で発売予定です。



2022年7月1日発売

健美三泉 ディープ フォーカス リキッド

【栄養機能食品(鉄・ビタミンB₁・ビタミンB₂)】

¥4,860 (税抜¥4,500) 50mL×5本

(お召し上がり方) 1日1本を目安に、軽く振ってからお飲みください。



【NEW】ラフマ葉抽出物

キョウチクトウ科の植物でラフマの葉から抽出し、中国では古くから葉をお茶にして飲用し親しまれてきました。生育地では『ラフマは神聖な植物で、ラフマ茶を飲めば、鬼を退治し、からだを丈夫にする』という民話も言い伝えられています。

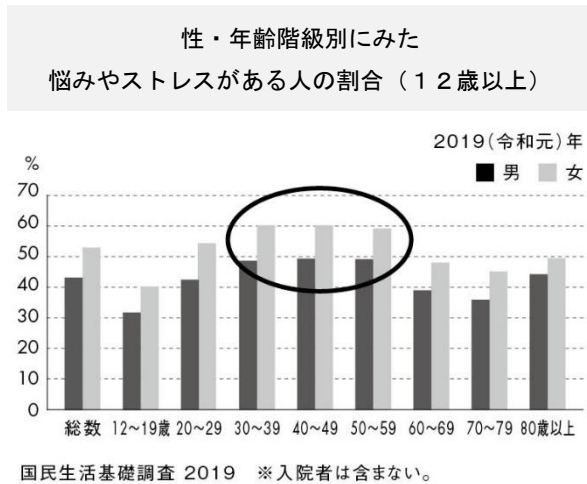
栄養成分表示 1本(50mL)当たり

エネルギー	20kcal	食塩相当量	0.027g
たんぱく質	0g	鉄	4.0mg(59%)
脂質	0g	ビタミンB ₁	0.85mg(71%)
炭水化物	7.09g	ビタミンB ₂	1.1mg(79%)

()内は、栄養素等表示基準値(18歳以上、基準熱量2,200kcal)に占める割合

オシャグジタケエキス末	200mg
ラフマ葉抽出物	50mg

③30～50代の女性は、ストレスを感じている人が多い



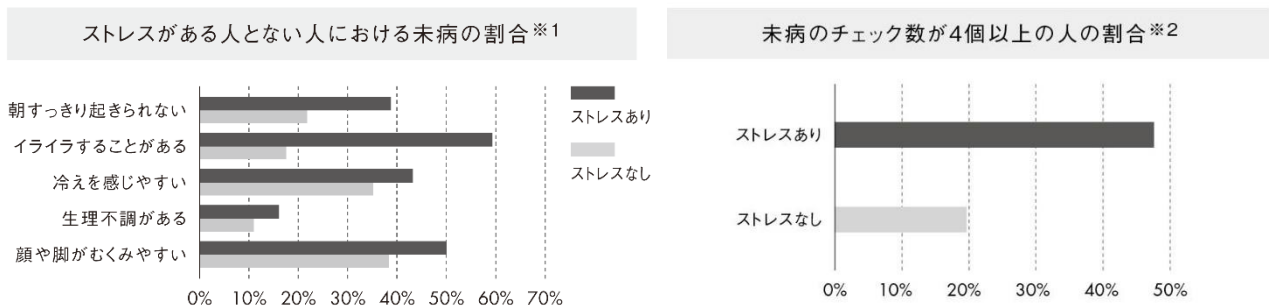
左のグラフによると、各年代のなかで、30～50代の女性が最も悩みやストレスを感じていることがわかります。結婚や出産、仕事環境などのライフステージの変化や、職場の人間関係、近所づきあいなどのコミュニティの広がり、家事や育児、自身の美容や健康に加え家族の健康管理、介護など、タスクや役割が多くなることなどの理由から、ストレスを感じやすくなっていることが考えられます。

④ストレスを感じている30～50代の女性は、未病（心身の不調）が多い

ポーラのパーソナライズドサービスブランド「アペックス」の肌分析のカウンセリングにおいて、「ストレス」の項目にチェックを付けた人は、付けなかった人と比較して、心身の不調（未病）に関するチェック項目に当てはまる人が多いことがわかりました。

また、「ストレスあり」の人は、「ストレスなし」の人と比べて、心身の不調（未病）に関するチェック項目が4個以上当てはまる人の割合が大きいこともわかりました。

ストレスを感じる人の方が、未病を感じている



◆2020年1月～2020年12月 ポーラ「アペックス」肌分析カウンセリング 新規分析チェックより算出 (30～50代 N=70,260)

※1：ストレスの有無に応じた、各未病チェック項目の占有比より算出。

※2：ストレスの有無に応じた、未病チェック数が4個以上の占有比より算出。



東洋思想では、生命を維持する三大要素「気血水」のバランスを重視しています。この3つのうちどれか1つでも不足したり、滞ると未病を招く可能性があります。

未病とは、「病院に行くほどではないが、疲れやすい、からだの調子が悪い」と感じる小さな不調のことを指します。

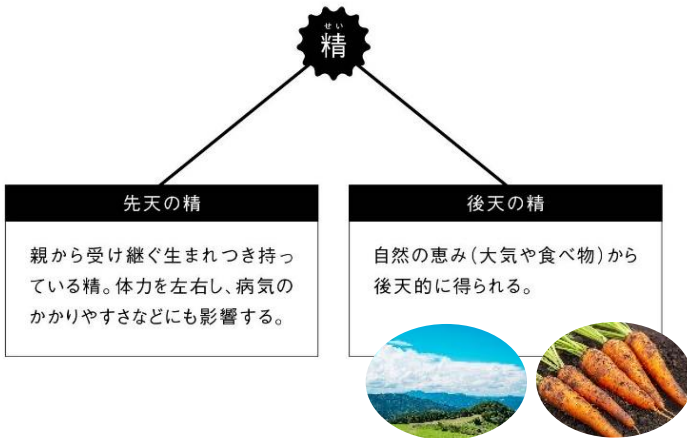
このため、気血水をバランスよく整えることが重要と考えられています。

◆生命力を生み出す根源であり「気血水」を高める鍵となる「精」

東洋思想では、「精」は、生命力を生み出す根源であり、気血水の源とされています。

「精」は気血水の源であるため、気血水の状態を整えるために重要な存在です。

ただし、「精」は加齢により、減少します。

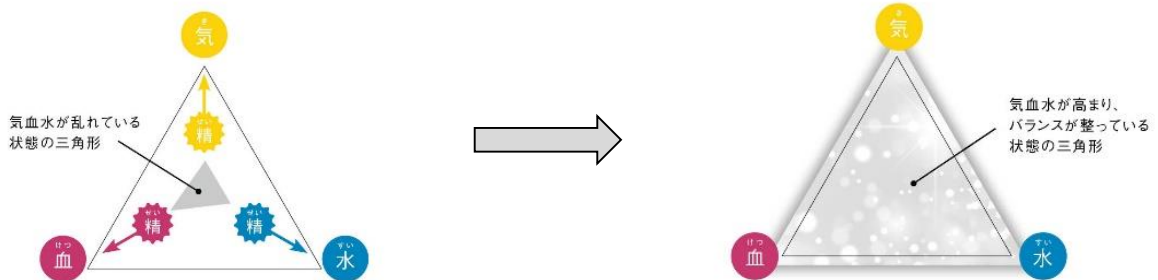


「精」には、両親から受け継ぐ「先天の精」と、食べ物や大気から得られる「後天の精」があります。

「後天の精」は、鮮度の高い食べ物をとる、澄んだ空気の中で過ごすことで補われますが、現代社会の生活ではこのような機会は少ないと考えられます。より積極的に「後天の精」を補うことが大切です。

精は、その人の気血水の状態にあわせて、自らが気血水に変わります。

精によって、気血水のバランスが良くなり、活力溢れる状態に導きます。



※図はイメージです